

障害ってなんだろう？

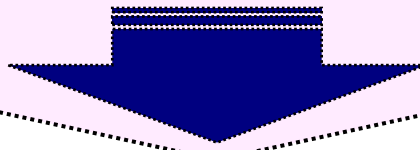
Part II

～ 知的障害のある人と接する時は ～ 「交通機関・店舗編」

障害のある人は、日常生活やさまざまな活動の中で、周囲の理解や配慮があれば、普通に生活や活動できることが多くあります。

お互いが支え合い、ともに生きていくことのできる地域社会を目指して、お互いを理解することから始めましょう。

ここでは、知的障害のある人との接し方について簡単にご説明します。



《 知的障害 》

知的障害は、脳に何らかの障害が生じたため、社会生活への適応のしにくさがあります。一口に知的障害といっても、常に同伴者を必要とされるなど、一人一人異なり様々な人がいます。

また、視力や聴力、言葉や運動機能などの障害を合わせ持つ場合もあります。

《 発達障害 》

発達障害は、自閉症、アスペルガー症候群等の広汎性発達障害、学習障害（LD）、注意欠陥・多動性障害（ADHD）等、脳機能の障害であって、通常低年齢において症状が発現するものです。自閉症には知的障害を伴う場合と伴わない場合（高機能自閉症）とがあります。

○自閉症・アスペルガー症候群・高機能自閉症は…

- ・相手とのやりとりが苦手だったり、相手の考えていることや感情が読み取りにくいことがあります。
- ・こだわり行動（興味が偏ったり、決まりきったパターンに固執すること）があります。
- ・自閉症には、言葉の発達が遅れる、オウム返し、会話が一方的で自分が関心のある事だけ話すなどの、コミュニケーション面での障害があります。
- ・アスペルガー症候群・高機能自閉症には、言葉の発達に遅れはありませんが、言葉の理解の仕方が独特であったりします。

○学習障害（LD）は…

全般的な知的発達に遅れはありませんが、

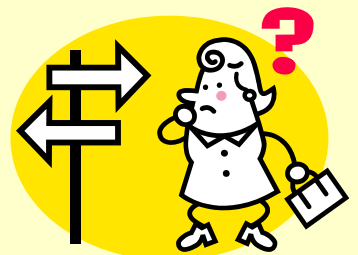
- ・学力の著しい偏り（読み・書き・計算などの一部だけができない）があります。
- ・注意集中力や落ち着きがない場合もあります。

○注意欠陥多動性障害（AD/HD）は…

- ・注意集中が難しかったり、多動で落ち着きがなかったり、衝動的で思いついたらすぐ行動に移してしまうことがあります。

～ 主な特徴 ～

- ・複雑な話や抽象的な概念は理解しにくい人もいます。
- ・人にたずねたり、自分の意見を言うのが苦手な人もいます。
- ・漢字の読み書きや計算が苦手な人もいます。
- ・ひとつの行動に執着したり、同じ質問を繰り返す人もいます。
- ・先のことを予測したり、欲求をコントロールすることが難しい人もいます。
- ・物事に対して、継続して取り組めないなど、集中力が続かない人もいます。
- ・環境の変化に対応できず、パニックになりやすい人もいます。



知的障害のある人の中には、自分から声がかかれなかったり、自分で判断することが難しくその場に立ち止まってしまったり、混乱して同じところを行ったり来たりする事があります。

そのような人を見かけた時は、次のように接してみてください。



《まず、話しかけてみてください。》

短い言葉で、やさしくゆっくりと声をかけてください。横や後ろからではなく正面から話しかけてください。そして、何をしたいのか確認してください。確認するときには、状況を推測して具体的(「本を買いますか?」「切符を買いますか?」等)に問いかけてください。また、その人の年齢にあった言葉遣いで話してください。



《相手の言うことをよく聞いてください》

人に尋ねたり、自分の意思を言うのが苦手だったり、言葉をうまく出せず、話すのに時間がかかる場合もありますので、ゆっくり余裕を持って接してください。文章になっていなくても単語などから状況を推測し、話しの内容を再確認してください。

また、質問の内容にかかわらず、全ての質問に対して同意してしまったり、なんとなく返事をしてしまう場合もありますが、実物や写真・絵などを使うと正しく理解できることもあります。

《目的にあった方法(手段)を教えてください》

何をしたいのか、目的が分かりましたら一つずつゆっくり丁寧に教えてください。複雑な話しや抽象的(あそこ、むこうなど)な言葉では理解できない場合もありますので、具体的な言葉で理解できたかどうか確認しながら説明してください。多くのことを一度に覚えることが困難な場合もありますので、ポイントになる所や重要なことは紙に書いて渡すなどご配慮ください。



また、金銭の受渡しが必要な時には、お金の種類が分からない場合もありますので、必要な金種を教えてくださいとともに受け取り易いように渡してください。



《やさしく見守ってください》

出来ることなら、説明を受けた内容が正しく行動できているか見守ってください。必要であれば、一緒に付き添ってください。付き添う時には、本人の同意を得てから同行するようにしてください。

《対応が困難である時は、家族や関係機関にご連絡ください》

その場での対応が困難であると判断される時には、家族等に連絡してください。本人の障害や特性、連絡先などが書いてあるカードや療育手帳を持っている場合がありますので、本人に確認しながら見せてもらい、連絡してください。この時、黙ってカバンを開けて荷物を出したり、服のポケットを探ったりしないでください。突然カバンを取られたり、身体に触れられるとパニックになる場合があります。

《パニックになっている時は》

予定外のことが起きたり、思いどおりにならなかったり、大きな音やにおいなど、その人によってパニックになる原因は様々です。もしパニックになっている時は、怪我等をしないように危険な場所や物から遠ざけ、やさしく声をかけて避難誘導をしてください。



ただし、強引な対応はかえって不安が大きくなる場合もありますので、緊急を要する場合以外は、そのまま落ち着くまでしばらく見守ってください。

落ち着きが見られましたら、前述の内容を参考に話しかけてください。

〔主な事例〕

Q. 突然の事故や故障で電車やバスなどに運行中止・遅延が生じ、その内容が理解できずにその場から動こうともしないで、回りをキョロキョロ見回している知的障害の人がいます。どのように対応すればいいでしょうか。

A. アナウンスなどの内容が分からずに、状況が理解できない場合がありますので、「どこまでいきますか」などと声をかけて、「今、電車が遅れて（止まって）います」などと状況を説明し、行き先が分かりましたら別の方法を教えてください。乗場や乗車方法などを一つずつ理解できたかどうか確認しながら、分かり易く説明してください。必要であれば一緒に付添ってください。

Q. 店内で20代の男性が、雑誌売場の前で行ったり来たりしていました。リュックに「自閉症です」と書かれた札がついていましたので自閉症とわかりました。彼は若い女性の店員さんに「いい？いい？」と何度もたずねていました。その店員さんはどのように対応したのでしょうか。

A. 店員さんは、短い言葉でゆっくりとわかりやすく話しかけました。彼に「雑誌を買うのですか？読みたいのですか？」とやさしく話しかけたところ軽くなすきました。彼に「立ち読みはできませんので、読みたかったら買ってくださいね」と話しました。彼はうなずいて店を出て行きました。

Q. コンビニの前を店の方を見ながら行ったり来たりしている知的障害の人が、結局店内には入らずにその場から去って行きました。しばらくすると再度同じような行動をし、また去って行きました。なぜそのような行動をしていたのでしょうか。

A. その人はコンビニで買い物をしようとしていましたが、店の前に数人の若者が座り込んでいたため、その状況が怖くて店内に入ることが出来なかったようです。

☆こんなことで困っています☆

- ・バスの運賃表の見方が分かりづらく、支払に戸惑うこと。
- ・障害の手帳等の提示によって運賃が割引になるところ、係員の認識不足により割引が適用されないこと。
- ・一人で買い物に行って、知的障害者だと知って入店を断られること。
- ・電車の駅舎内やバス停など、表示されている名称にふりがながないこと。
- ・コンビニやスーパーの商品が、どこに何があるのか分かりづらいこと。
- ・障害による行動の遅さに対して「早くしろ！」などと言われること。（パニックになる）
- ・バスに乗車した時、席に座る前に急発進されること。
- ・レジ等でお金を支払う時、合計金額だけでは金種が分からないこと。
- ・障害に対する理解が乏しいこと。
- ・様子がおかしいとジロジロ見られること。



知的障害に関する関係団体

- ・神奈川県手をつなぐ育成会 TEL 045-311-8752
- ・神奈川県知的障害施設団体連合会 TEL 045-311-8752
- ・神奈川県障害者地域作業所連絡協議会 TEL 045-311-8752
- ・神奈川県自閉症児・者親の会連合会 TEL 046-238-8490（佐々木方）

※この他にも、多くの団体が活動しています。

近隣の学校や施設等の連絡先を前もって記入しておくくと便利です。

	名 称	連 絡 先 (TEL)
学 校 ※特別支援学校など		
施 設 ※知的障害者通所施設など		
市町村障害福祉担当課		

神奈川県障害者社会参加推進センター事務局

〒221-0844

横浜市神奈川区沢渡4番地の2 県社会福祉会館 1階

財団法人神奈川県身体障害者連合会内

TEL 045-311-8744

FAX 045-316-6860

ホームページ http://www32.ocn.ne.jp/~kanagawa_sinsho